

## はじめに

Tripwire みたいな、ファイルの改竄を検出するなにか、のメモ。

最近では、ホストベース IDS とかいうみたい。ものは言いようだねー。

## おしながき

### mtree

BSD系 UN\*X には昔からついているコマンド。(OS X にも入っている。)NetBSD 3.0 の man には、

#### HISTORY

The mtree utility appeared in 4.3BSD-Reno. The optional keyword appeared in NetBSD 1.2. The -U flag appeared in NetBSD 1.3. The flags and md5 keywords, and -i and -m flags appeared in NetBSD 1.4. The device, rmd160, sha1, tags, and all keywords, -D, -E, -I, -L, -N, -P, -R, -W, and -X flags, and support for full paths appeared in NetBSD 1.6. The sha256, sha384, and sha512 keywords appeared in NetBSD 3.0.

ってのっている。

- man: [FreeBSD 6.2](#)・[NetBSD 3.0](#)(NetBSD 本家 = [man.netbsd.org](http://man.netbsd.org) はどうもデータが壊れているので、[FreeBSD 本家のリンク](#))・[OpenBSD 4.1](#)。
- 『[BSD HACKS](#)』には Tripwire みたいな使い方の解説 (Hack #58) がのっている。
- NetBSD では、`/etc/mtree/DIR 名.secure` という名前で、改竄検知用のデータを作っておけば、`/etc/security.conf` の `check_mtree` を `yes` にすると、検知対象とすることができる。`/etc/security` のコメント部を読んでみよう。
- google ればいろいろでてくるよ。<http://www.bsdforums.org/forums/archive/index.php/t-4257.html> とか。
- Linux や他の OS でも使いたい
  - [Linux への移植版 mtree](#)。でも最近の Linux だと、make とおらないみたい。
  - [Openwall GNU/\\*/Linux](#) にも、[FreeBSD から移植された mtree](#) がある。
    - 上記のを、Vine 2.5 で使えるように SRPM() にしてみた。無保証だよ。
  - debian にも `deb` が `freebsd-mtree` とかってあったような気が? でも探してもないんだよね。
  - [pkgsrc](#) の bootstrap kit(ftp) にも、mtree がある。これだと、Solaris とかでも make さえとおれば使える。
  - [gentoo](#) には `portage` がある。上記 bootsrtap kit の mtree みたい。

### AIDE

<http://aide.sourceforge.net/>

NetBSD の人は "[Installing and configuring AIDE for NetBSD](#)" を見よう。

### osis

<http://www.hostintegrity.com/osiris/>

### samhain

いきなり Javascript。w3m ではなにも見えない。;\_; 見えるようになった。

<http://samhain.sourceforge.net/>

### integrit

<http://sourceforge.net/projects/integrit/>

更新は止まっているっぽい。

find とかでがんばる

```
find /path/to/dir -ls > file1  
find /path/to/dir -type f | xargs sha1sum >> file2
```

とかでがんばるとか。